

市ノ沢報告書

(山域) 奥秩父

(日時) 2016 / 9月24～25日

(コースタイム)

1日目 曇り 時々小雨

雲取林道→サメ沢橋ゲート 9:20～林道～大洞ダム 9:45～市ノ沢出合 10:00～遡行～
岩穴沢 12:20～芝沢出合ビバーク 14:40

2日目 晴れ

ビバーク地 7:00～二俣 9:10～奥の二俣 10:00～1810m 仁田小屋尾根 11:50～
和名倉山山頂 13:10～松葉沢ノ頭 14:40～仁田小屋ノ頭 15:30～仁田小屋 17:00～
廃作業小屋 17:20～林道 22:00～サメ沢ゲート 23:10

(参加者) CL: 渡邊3 (記録)、SL: 吉川、大塚、前田

(山行報告)

1日目

早朝千葉市を4:30に出発、市川経由関越道花園ICから現地に向かう。

雲取林道に入りサメ沢ゲート前に駐車、沢支度をして林道を10分くらい歩くと
モノレールがある。

モノレールに沿ってダムへのつづら折れの道を下降する。

大洞ダムを越えて左に岩壁を回り込むように進みほどなく市ノ沢の出合に着いた。

雨の日が続いていて増水していたが巻き道もあるので芝沢出合ビバーク地までは問題
なく遡行できた。





2日目

前日と違い晴れ、水量も少し減ったかな？

5:00 起床テント内で食事をとり準備し予定どおり7:00に出発した途中スダレ滝を登り1350m 二俣を右に進む。

しばらくすると奥の二俣ここは左に進んだ。ここから300m位急な登りになる。

2時間弱登りやっと仁田小屋尾根に出た。



少し休憩し靴を履き替えザックをデポして和名倉山に向かう。

山頂で記念撮影をしてもと来た道に戻り荷物を回収、下山開始した。

広い尾根なので方向に注意しながら進むと松葉沢ノ頭の看板つぎは仁田小屋沢ノ頭の看板すぎ急な斜面をトラロープ沿いに下る。

1405m地点の広くなだらかな場所に出たが目印が見つからず手分けして探し黄色テープを見つけ急な作業道を下降した。途中小屋が見えてきた。仁田小屋に到着。

小屋の入口側に向かい沢を横切り斜面の踏み跡へ途中鹿ネットの紐をほどき中に入り進むと三方をネットに囲まれた廃作業小屋が出てきた。ここから40分くらいで林道に下りられる。

※ ここから下山遅れの原因です

ネットのむこう側に行きたい。

小屋左側のネットは一部倒木によって押しつぶされ簡単に出られるようだ。

念のため CL が小屋の裏に回って確認したがネットは閉ざされると判断、左側の押しつぶされたネットをまたいで出る事にした。

そこには踏み跡らしきものがある。(獣道を踏み跡と間違えた)

悪い斜面の先の薄暗い尾根に向かっている。

CL はそこに向かって下ってしまった。急な尾根だった。

木の葉が日をさえぎり暗くなる。自分がなぜか焦っている気がした。

尾根の右側が谷になって沢になっていた。沢に下りて下山できないかと思い全員にヘッテンを点灯させハーネスを付けて沢に下降した。ガレた急な斜面に水が流れているだけだった。CL は単独で偵察に行くがとても危険で引き返した。

沢では下山出来ないと判断、全員下りてきた尾根に登るよう指示した。

尾根に戻り 19 : 00 下山連絡の時間になっていた。運良く電話がつながり今の状況を伝えることが出来た。

焦らないで自分たちのペースで頑張るよう山行管理の方に言われ安心した。

皆と相談、スマホアプリで位置を確認しこのまま尾根を下降する事に決めた。

暗闇の中ヘッテンの明かりを頼りに時間をかけ慎重に懸垂下降を繰り返した。

喉がカラカラになる。女性陣は文句ひとつ言わず CL に着いてきてくれた。

疲れてきた。明かりの先にガードレールが見えた。

林道間近だが地形図を見ると岩壁の上にいる。このままでは下りられない右に 2 回トラバースし左にトラバース運良く林道に下りる事が出来た。

22 : 00 辺りは闇夜、電波が通じない。林道を 30 分歩いた辺りで山行管理者にやっと連絡がついた。ゲートに着いたのは 23 : 10 だった。

下山遅れは CL の状況確認の甘さ、判断ミス、が原因です。

現在地と降り口が解っているのにコンパスを合わせなかった。

獣道を踏み跡と決めつけてしまった。

廃作業小屋近辺の下調べが足りない。

など今考えると『なぜ？どうして？』と思います。

あと少しで下山できるとなめてかかっていた。

皆様、ご迷惑ご心配をおかけしました。

誠に申し訳ございません